



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 22 年 5 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



町指定無形民俗文化財 弓引き祭（十郎原地区）4月3日
的に当たった矢の数で1年の豊凶を占う神事

3月議会の内容

- 一般質問 P 2- 6
- 追加議案 P 6
- 議案質疑 P 7
- 委員会報告 P 8

平成 22 年第 1 回能登町議会定例会は、3 月 9 日から 19 日までの 11 日間の日程で開催されました。9 日には議案 40 件、陳情 1 件が上程され、議案質疑が行われました。人事案件 2 件が先議され、同意されました。議案は各常任委員会に付託されました。15 日に町政一般質問、19 日に採決が行われ、議案 38 件は原案のとおり可決、継続審査を含む陳情 2 件は採択されました。追加議案で上程された議案 1 件、発議 1 件は原案のとおり可決されました。また、副議長辞職が許可され、副議長の選挙となり、石井良明議員が副議長に当選しました。

第20号

いっぱん質問



椿原安弘 議員

問 男女共同参画推進と中学生議会は

男女共同参画推進方や中学生議会の開催、町民音頭や町歌の製作について提案したが、その後経過はどうなっているか。

答 条例化に向けて進め、中学生議会も実現したい

町長 平成21年3月に男女共同参画プランを策定し、4月より施行しているが広く周知に至っていない。今後関係機関などと相談し、条例化に向けて進めていきたい。町民音頭や町歌については、継続して検討したい。

教育長 中学生議会は教育活動において、生徒が自分の将来を具体的に考

える機会として大変有意義である。校長会と協議を進め、できれば授業時間の一環とすることで検討し実現したい。

問 町のホームページにあらゆる情報を公開しては

各家庭でのパソコン普及率が高くなり、町の情報を知りたいという町民が多いと思う。これが町政を理解できる大変重要な要素である。町長の職務日程や町交際費、町行政委員会などの情報を公開してはどうか。また、町の主なイベントなど一覧方式にして掲載してみたい。

答 新システムに移行し情報を提供

町長 町政に関する町民の知る権利を尊重し、町民の町政に対する理解と信頼を深め、町民参加で開かれた町政をより一層推進することは大変重要である。新年度より新シ

ステムに移行し、サービスの向上に努めたい。

問 行政改革の最終進捗見込みは？

平成18年3月に策定された行政改革大綱は平成17年度から21年度までの5カ年計画で町民協力の下、すすめられてきた。今年で最終年度だが、最終進捗見込みと今後は。

答 実績見込みは52億円を推計しほぼ達成

町長 大綱は5つの大きな項目を掲げ実施してきた。削減効果については年度途中であるが、概算では約32億5千万円の計画額に対して、実績見込みは52億円を推計している。町民の皆様、議員各位のご理解とご協力によりほぼ達成できたのではないかと思う。今後の取組については第2次行革大綱及び実施計画を策定し、事務事業推進に努めたい。



河田信彰 議員

問 公共交通ネットワークの構築は

今年度運行実験している町営バスなど交通ネットワークは、今後も継続していくのか。町営バス無料化、交通空白地域のカバー、高齢者の免許証返納に対し特典制度を設け、バス利用促進を図り、徒歩と公共交通によってアクセスしやすい町を目指しては。

答 交通の環境整備の充実を図る

町長 平成22年度も引き続き実証運行実験をしていく。料金に関しては無料というの考えず、負担を頂き適切な運行を、また、高齢者が安心して免許証を返納できる様な公共交通の環境整備の充

実が第一であると考えている。

問 能登の良さと個性を発信した誘客は

都会の情報を持ち、会員などが多いメリットからも、大手旅行会社への情報提供や楽天などのサイトを通じた商品の発信はできないか。能登の良さ個性を多方面に発信した誘客促進に努めて欲しい。

答 他の地域と差別化したメニューで

町長 奥能登全体でのメニュー作りと営業PRが必要と考えている。他の地域と差別化した能登でしか味わえない、体験できないメニューで情報を発信し、誘客に努めたい。

ふるさと振興課長 町として、県と県観光連盟が「首都圏誘客ビジネス商談会」で営業活動を行い、町も企画に乗ってPRに努めている。



新平悠紀夫 議員

問 西谷記念館などの充実は？

能登町の生んだ哲学者である西谷啓治氏の記念館などの改修はあるのか。

答 西谷記念館は十分な施設ではないが創意工夫で

町長 遠島山公園に能登町立美術館、能登町西谷啓治記念館などがあり、施設管理は能登町ふれあい公社で指定管理しているが、西谷啓治記念館は特に十分な施設とはいえない状態である。
 次期経済対策が発令された折には建設に向けて取り組んでいきたい。現状の中では公社と協議しながら来館者に満足してもらえよう創意・

工夫をしていきたい。

問 テニス展示室の取り組みは？

テニス史の研究で知られている表孟宏先生が40年に亘って収集された四百点余りを平成15年10月に譲り受け、また日本人初のプロテニス選手で郷土出身の偉大なプレーヤー神和住純先生が獲得されたカップ、記念品などを平成19年4月に譲り受け、現在、藤波運動公園内テニス資料室で一般公開されている。
 テニスの町を全国に発信し活用するためにもテニス資料館の建設はいつを目的に予定されるのか。

答 将来に向けて、建設を予定している

町長 平成22年度から23年度において、テニス資料の分類整理などを予定し、将来建設を予定している。

問 町の温暖化防止対策は？

宇出津新町通り商店街は電柱地中化により大変見通しがよくなり、明るく広く見渡せるような景観となったが、水銀灯は発光ダイオードLEDなのか。また、環境維持とCO2の大幅な削減のため町内が管理する防犯灯をLEDに切替えるための補助はあるのか。

答 宇出津新町通り街路樹のイルミネーションはLED

町長 新町通りの街路樹のイルミネーションは中町、上町商店街の皆さんの管理で発光ダイオードとなっている。庁舎内の改修に一階のフロア部分と二階の窓口部分の照明にLEDを使用する。
 防犯灯では、四基を寄付により町内に設置している。LED補助は今後検討する。



志幸松栄 議員

問 能登町の地産地消は？

海洋深層水の塩の値段、それから販売方法は。

答 「能登の塩」ファブリックに努める

町長 「能登の塩」の価格は100g入りが500円、200gは800円、500gが2000円、1kgは3500円と量が増えていくほど割引価格になっている。
 販売方法は、町内のスーパーや観光施設など、県内大手デパートや一部のスーパーの店頭でも手軽に購入できる状態になってきている。
 本年は、全国へ「能登の塩」文化をアピールして更なる特産品としての注目を浴びる取り組みを

行い、「能登の塩」ファブリックに努めていきたい。



能登の塩

問 宇出津総合病院の今後は？

宇出津総合病院の現状と病院改革プランの取り組み・進捗状況はどうなっているのか。
 病院の存続のため町民から協力をいただく考えは。

答 常勤医師の確保に努めていく

町長 病院の現状は、診療報酬のマイナス改定や医師・看護師不足の影響、更には人口減少などにより患者数が減り、医療収益が減少し、大変厳しい経営を強いられている状況である。
 病院として必要な医療

の安定的かつ継続的な提供が最重要と考えている。病院改革プランについては、プランの取組項目は全部で62項目あり、そのうち50項目について取り組んでいる。

収益を大きく左右する常勤医師の確保については、これまで以上に取り組んでいく。
 なお、協力金については今後も勉強していき

問 平成22年度予算の概要は？

答 教育・福祉・防災が重要

町長 平成22年度当初予算に関しては、133億3100万円という大きな予算になった。
 支出面では子ども手当が増え、病院会計への補助金が増加した。
 私のモットーである教育・福祉・防災の3点を重要と考えながら予算の執行を行っていく。



山本 一朗 議員

問 湯快リゾート和倉 進出の対策は？

宿泊価格が一泊二食で7000円前後の旅館が4月下旬に和倉でオープンする。公社の4宿泊施設は価格帯も似ていてターゲットになりやすいが、対応策は決めているのか。

答 民間宿泊施設にはどのようなアドバースを行政側としているのか。0泊2食で3900千円、45000円のサービスを提供すると良いと思うが。

町長 公社4施設は宿泊者のターゲットが異なり、ほとんど競合しないと考えている。民間宿泊施設への指導

は、地元食材のもてなしの心で独自性に努めておられるので、今のところ考えていない。明暗の影響を受ける業種は特別に調査していない。



国民宿舎やなぎだ荘

問 北陸新幹線開業に伴う能登観光の明と暗は？

2014年に北陸新幹線金沢〜東京間が開業予定である。観光客増加が期待されているがこれに対して奥能登二市二町の首長は戦略会議などではされているのか。また能登空港の搭乗率にも明と暗が出るのではないかと。首都圏の旅行者の商形態が変わると、個人の旅行形態も変わる。能

登観光浮上に対し明と暗の部分が出ると思うが。

答 食・体験などの充実がより一層必要

町長 能登空港利用者の中で七尾、羽咋地域の方々は多少は新幹線に流れると思うが、北陸全体をみれば観光客の増加が予想される。能登観光に関しては、金沢まで来た客をどう能登へ呼び込むかが大事で食・体験などの充実がより一層必要だと考えている。



能登空港



酒元 法子 議員

問 男女共同参画の推進は？

国や県が男女共同参画社会を推進している中、当町での管理職の女性登用は。

答 公的分野における女性の積極的登用

町長 能登町では平成21年4月現在で一般行政職における女性職員の比率は、主査・係長級で40.3%、主幹・課長補佐級で43.8%、課参事級では0%である。行政の施策や方針を決定する場で、男女の意見がバランス良く反映されるよう公的分野における意思決定過程への女性の参画は必要と思う。男女平等の取り扱い、また定員管理の適正化を推進

し、女性管理職の登用を積極的に取り組んでいく。

問 公設駐車場の整備と今後の対応は？

宇出津地区の公設の駐車場の整備が遅れ、当町のイメージダウンになるのでは。

答 駐車場整備で商店街の賑わい創出

町長 駐車場不足が中心市街地の空洞化の大きな要因だと思う。県営の新町通り線街路整備事業や町事業の町なみ環境整備事業を通じ、中心街などの機能と魅力向上に取り組んできた。また、宇出津港の港湾環境整備事業による役場前広場や、来年度から実施する宇出津駅跡地での街づくり交付金事業で駐車場の整備をする。これら2ヶ所の駐車場が今後の中心商店街の活性化、回遊性を生み出し、賑わい創出に貢献すると考えている。

問 町道など町が所有する施設の管理は

降雪時の倒木などによる通行の安全確保など、周辺環境の管理についてどのように考えているのか。

答 きめ細やかな道路維持管理の実施

町長 従来実施している町道の草刈の委託費については、行財政改革の一環として施策の厳選や見直しを行い、年々削減してきた。今年度より国の緊急雇用創出事業を活用し、シルバー人材センターに委託して実施、平成22年度においても引き続き事業を活用して実施していきたい。

廃校になったグラウンドなどについては、利用する方・地域が中心となつて行つていただいております。地域の方々には心からお礼を申し上げます。



宮田勝三 議員

問 第二次行政改革大綱や実施計画は？

第二次行政改革大綱に基づいて、平成23年度予算が組まれるのに、いまだ行政改革大綱や、実施計画が示されていない。ましてや、指定管理者も平成23年度で期限が切れる。施設の統廃合計画や運営計画は策定されているのか。

行政改革大綱に基づいて、平成22年度の予算編成がなされるべきではないか。
施設の民間への指定管理も期限が終わりになるが、それ程効果が見れないと思う。ポーレポーレを含め公社が指定を受けるとよいのでは。

答 委員会からの答申が出てない状況

町長 第二次の行政改革大綱や実施計画については、まだ答申されていない状況だが、指定管理体制の導入を増やすことや、課の再編、あるいは分庁舎、支所、出張所の見直しなど盛り込まれていると思う。

課の再編や職員の適正化など、できる限りの努力をした。
公社については、職員の雇用を含め、公益法人から株式会社へ移行することも考えている。



真脇ポーレポーレ



鶴野幸一郎 議員

問 病院の空室を町民憩いの場として活用できないか？

病院を発展させる方法は医師・看護師などのスタッフの充実が欠かせないが、合わせて接遇などのソフト事業も大切な要素である。接遇のプロを入れての研修を行う考えがないか。また町民が親しみを感ぜられるような空間を院内に設ける必要もあるのではないか。

全中学校の耐震補強工事を着手することは良いが、能都中の新築というのは急ぎすぎではないか。教育環境づくり検討委員会の結論を待つべきでは。

能登高校地域創造科の岩ガキ・昆布の養殖が成功している。地場産業として発展させるため、行政の支援は。

答 町民に信頼され、親しまれる病院に

町長 患者さんにとって快適な空間というのは病院の中に必要と思う。平成21年度に看護科で接遇委員会を新設し取り組んでいるし、院内でも研修を実施して充実に取り組んでいる。また、患者満足度調査も実施している。今後とも患者さんや社会的なニーズに対応すべく努力を続けていく。

能都中学校は、耐震補強工事と同程度の町負担金で新築ができるので、新築の方が有利と判断した。

能登高校の支援は、学校と県とで協議し、支援策を検討したい。



公立宇出津総合病院



石岡安雄 議員

問 能登空港利用促進の取組は

能登空港利用促進に係る負担金・補助金にも限度があるが、更なる取組が必要では。

答 「マイ空港」という概念をもって

町長 空港利用の企画ツアールを組んだり、七尾以南の各自自治体へ利用促進を図り、「マイ空港」という概念を持ってもらえるような取り組みをしていく。

問 国際女子プロテニス大会の効果は？

国際女子プロテニス大会が開催されているが、どのような恩恵があると考えているのか。

答 来場者数は右肩あがり

町長 来場者数は右肩あがりに増えていると判断している。小中学生の授業の一環として来場し、プロ選手と肌で触れ合ったり、この大会の後援のテレビ局の番組で、能登町のPRの効果もある。

問 将来の学校統廃合検討状況は？

少子化で児童数が減少していくなか、学校の統廃合の検討は。

答 統廃合問題は白紙の状態

教育長 学校の統廃合問題については白紙の状態である。昨年7月に小・中学校教育環境づくり検討委員会を立上げ、今後の教育環境について答申を求めている

検討委員会の答申をいただき、教育委員会としての案をまとめていく。



奥成 壮三郎 議員

問 本年度予算の見方と目玉事業などは？

町財政破綻寸前という言葉に耳にするが、予算というものを身近にわかるように説明と目玉事業の説明を。また船舶電話補助の考えは。

答 新たな整備事業と船舶電話補助は前向きに

町長 墓地公園の拡張・有線テレビの能都地区整備・能都中学校の改築や宇出津駅跡地・松波地区の雨水配水管路整備を新たに整備する。

船舶電話補助は、どのくらいの経費が必要かを各漁協を通じて調査し、近隣市町の状態を参考にしながら前向きに検討していく。

問 縦割り行政から行政連携、プレーへ

- ① 公社宿泊施設と宇出津病院でタイアップして、最適な人間ドックを企画し県内外から受入ては。
- ② 町施設を取り壊す前に各消防団に訓練を。
- ③ 能都・柳田庁舎に自動血圧計がない。健康意識向上のため設置を。
- ④ 町管理の図書をローテーションを組んで、公民館や図書館に回せないか。
- ⑤ 各地区へ除雪時間帯をアナウンスできないか。

答 連携を密に

町長 横の連携を密にしながら行政運営をしなくてはいけない。①病院と公社で連携を図り、研究する。②消防団技術向上のため訓練を取り入れる。③今後設置を検討する。④現状は厳しいが、バーコードで管理できるシステムを整備する。⑤リアルタイムで情報を流すことは非常に困難。

追加議案

議案第46号

要旨

能登町立鶴川中学校耐震補強改修工事
(一般競争入札不調)
指名競争入札を3月16日に実施、1億213万円にて鹿島建設株式会社北陸支店金沢営業所が落札。

質疑

問 多田喜一郎議員

この工事が、一般競争入札ではなく指名競争入札にて行われた理由は。

答 監理課長

地方自治法では入札が不調に終わった場合に、再度どのように入札を施行するかは、自治体の裁量で決定すべきとされている。この事業は、平成21年度安全・安心な学校づくり交付金事業で平成21年度中に契約する必要があり、未契約繰越はできない。一般競争入札にすると

討論

【反対】

多田喜一郎議員

能登町の指名競争入札の基準が決められているのであれば、それを守つていかなければならない。基準が明確ではないように見える。判断がその時々が変わつてはいけないと思う。

【賛成】

鍛冶谷眞一議員

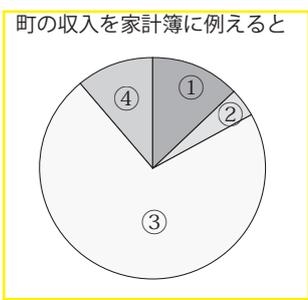
指名のあり方について反対討論をした多田議員の論は非常に正しいと思う。しかしこの事業は、安全・安心な学校づくりという交付金事業で、平成21年度の中で議会承認を得なければいけない。今後反省材料とし、これから活かしていくという条件付きで賛成したいと思う。

採決

答 町長

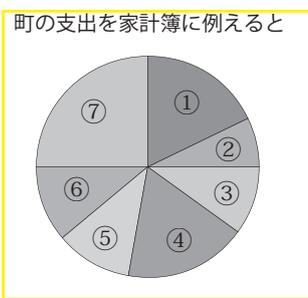
工事発注に関しては、特殊な工事などを除いては原則地元発注と考えている。今後もそういう考えである。

起立採決により賛成多数にて原案どおり可決された。



※ 100万円にて試算。

①月給	13万円
②家賃収入	4万円
③実家からの援助	72万円
④借金	11万円
合計	100万円



※ 100万円にて試算。

①食費	18万円
②医療・保育費	7万円
③光熱水費・通信費	10万円
④お祝金・慶弔費	18万円
⑤子供への仕送り	11万円
⑥家の増改築など	11万円
⑦ローン返済	25万円
合計	100万円



議案をチェック

■ 椿原 安弘 議員

交際費が奥能登二市二町の中で最も高い250万円となっている説明を。

■ 総務課長

能登町政の進展に功績があった方などの冠婚葬祭に対する支出が主である。交際費は、毎年節減に努めている。

■ 奥成 壮三郎 議員

街中での業務効率アップ・経費削減のため自転車を持って持たないのか。

■ 総務課長

自転車については、職員が通勤に使っているものを一時的に借りて使用している。

■ 鍛冶谷 眞一 議員

宇出津駅前広場の再開発の内容と道路整備の工期など説明を。

■ 建設課長

事業内容は、三つの基本事業から成立っている。道路は岩屋町踏切か

ら鉄道敷きを利用してJ

Aおおぞら能都支店前へ繋ぐものと、上岩屋町にある興能信用金庫電算センター付近から商工会前を通し駅前広場に出すものが主なものである。その他バスターミナル機能の充実、イベントなど多目的広場が主な事業である。また、トイレ整備や観光など情報拠点としての総合案内所も計画している。

■ 石岡 安雄 議員

宇出津駅前整備事業で整備された駐車場が、近隣事業所の従業員の方で占領される恐れがあるのではないかと。

■ 建設課長

駐車場は計画では100台ほどだが、現在商工会の駐車場が道路に変わる部分もあるので協議しながら配分していく。

■ 石井 良明 議員

経済危機対策臨時交付金、生活対策臨時交付金事業の建設と農林分野での工事負担金の説明を。

■ 農林水産課長

町の負担金条例に基づき、基本的には10%である。

■ 建設課長

今回の建設課で実施した事業では、負担金は取っていない。

■ 向峠 茂人 議員

農業振興費でクロマルハナバチ飼育事業で4450万円が予算化されたが、事業化の際の採算ベースはどれだけの蜂が採算ベースなのか。

■ ふるさと振興課長

平成21年度より2年間で試験飼育ということに予算化されているが、6千匹の女王蜂を購入し、商品化率65%を想定している、4100コロニーの出荷を見込んでいます。

■ 南 正晴 議員

棚田保全対策事業120万円の予算の内容は。

■ 農林水産課長

対象地域は、「春蘭の里」の地域で、子供体験農園とか都会の学生を受け入れる体験学習の場を整備するものである。

■ 新平 悠紀夫 議員

水産業費の中で、漁業振興対策として外国人雇用という形の受け入れ事業が3200万円ほどであるが外国人に頼りすぎでは。地元の船員が皆無に近くなっているが、将来の不安をどう考えているのか。

■ 町長

3200万円については、同額を漁協から寄付金という形でいただいて、それを支払っているのが現状である。外国人頼りという心配だが、幹部候補生の育成には注視している。

■ 山本 一朗 議員

能登高校支援事業費870万円について説明を。能登高校への応募者数を増やす目的の助成だが、

国の農商工連携事業に併せて、学科の中身を親御さん達から選ばれるように工夫していかないと、将来的に町に高校がなくなってしまうと思うが。

■ 町長

高校の支援は我々がやるべきだと思うが、進路は親と子供と先生の三者で決められるのがベストではないかと思う。

■ 多田 喜一郎 議員

退職手当の経常収支が平成21年度では特別給付負担金が4億5千万円ほどだが、町の決算剰余金以上に退職金が出て行くので、毎年赤字になるのでは。剰余金はあっても、2つの負担金を出せば赤字になるなら、退職手当組合に入っていないとともよいのでは。

■ 企画財政課長

一般会計の剰余金だが平成20年度決算では、2億円ほどで、今年度も約2億円が出る。

■ 総務課長

組合を脱会するには、現在支払超過になっている

る11億円を精算する必要があり、財政的問題も残るので検討させていただきたい。

■ 鶴野 幸一郎 議員

納税組合数が減った理由と、奨励金の減額理由の説明を。

■ 税務課長

組合数の減は、高齢化が原因だと思われる。奨励金の率を下げたうえに、組合の数も185組合から163組合に減ったことがあげられる。

■ 宮田 勝三 議員

町営バス運行業務の845万円と実証運行業務の説明を。

■ 企画財政課長

845万円の予算は、町営バス駒渡線を柳田スクールバスの合流線と連結して計上。柳田線の半年分の運行費である。実証運行業務は、公共交通協議会で実施している3つの実証運行業務で、デマンドタクシーも含まれている。

■ 総務課長

組合を脱会するには、現在支払超過になっている

る11億円を精算する必要があり、財政的問題も残るので検討させていただきたい。

■ 鶴野 幸一郎 議員

納税組合数が減った理由と、奨励金の減額理由の説明を。

総務

委員会

菊田俊夫(委員長)
酒元法子(副委員長)
山崎元英・新平悠紀夫
山本一朗・向峠茂人

3月10日に委員会を開催し、付託された議案12件を審議、全会一致で可決すべきものとした。

執行部の答弁要旨は以下のとおり。

○納税組合の実情

組合解散の原因を高齢化と聞くことが多く、自主納付になれば納期限を忘れることも予想されるので、口座振替を推奨し徴収率の低下を招かないようにしたい。

○防火水槽

蓋のない防火水槽の安全確保のため蓋の設置を主とするが、古い防火水槽の場合には国庫補助制度のある耐震性防火水槽が財源的に有利な場合もある。蓋のみにとらわれず精査し実施したい。

○補助金と交付金の違い

国庫補助金の一括交付金化についての詳細は不明だが、これまでの経

教育民生

委員会

奥成壮三郎(委員長)
南 正晴(副委員長)
石井良明・久田良平
宮田勝三・奥野 清
椿原安弘

3月10日に委員会を開催し、付託された議案12件、陳情1件の審議結果は全会一致で可決・採択すべきものとした。

○能都中学校の改築

審議中の質疑応答内容などは以下のとおり。

○ねりんピック

経費の総額は、県及び町から総額2300万円の補助を受けた実行委員会が運営し、全国からの選手、県テニス連盟や当町の競技補助員、ボランティアなど総人数約1200人の規模で実施する。

○塵芥収集事業

正月に長期間収集されず、苦情を聞いたが、次年度は配慮する。

○能登産米の利用状況は

内浦地区の学校給食で能登産米を使用しており、今後は他地区でも農協側の体制が整い次第、可能となる。

産業建設

委員会

河田信彰(委員長)
鶴野幸一郎(副委員長)
大谷内義一・多田喜一郎
鍛冶谷真一・石岡安雄
志幸松栄

3月10日に委員会を開催し、付託された議案18件は全会一致で可決、陳情1件は賛成多数で採択すべきものとした。

○能都中学校の改築

経緯が説明不足では。現在の場所、生徒数による規模で、統合を見越したのではない。

○美術館入館者数は

昨年4月から1千人ほどで、展示会の開催を希望する声もあり、第1展示場で羽根万象先生の作品を、第2展示場は展示会としての利用を考えている。

○病院行きバスも必要

デマンドタクシーに期待したが利用率はあまり高くなく、その時間帯変更も含め検討する。

○乳幼児及び児童医療費給付事業の拡充

なぜ10月1日から。所得制限に係るデータの取得、確認などの作業に時間を要するためである。

○陳情・旧小木小学校、グランドトイレ改修

採択とした。

○米個別補償制度の予算

国から町を通さず直接農家へ支払われるので町の予算書には表れないが、事務的な作業については町が担当することになるとの説明であった。

○九十九団地リフォーム

耐震性は十分であり、先に空室を実施し、入居者にはローテーションを組んで順次完了済みの部屋へ移って頂き、全戸を実施すること。

○宇出津駅跡地利用整備計画

本年度は用地購入と建物補償などが主とのこと。計画にトイレの整備を希望する意見が出た。

○陳情・町道1級九里川尻越坂1号線(河ヶ谷地内)取付道路の舗装について(継続審査分)

現地視察や地区民の意見を聴聞のうえ、過去の経緯や公共性・公益性の有無などについて議論を重ねた。